

東北厚生局長 殿

開設者名 公立大学法人福島県立医科大学
理事長 菊地 臣一

公立大学法人福島県立医科大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 21 年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	118.5 人
--------	---------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	326人	128人	420.7人	看護補助者	32人	診療エックス線技師	人
歯科医師	3人	6人	7.6人	理学療法士	8人	臨床検査技師	62人
薬剤師	31人	人	31.0人	作業療法士	3人	衛生検査技師	人
保健師	人	人	人	視能訓練士	5人	その他	人
助産師	30人	人	30.0人	義肢装具士	人	あん摩マッサージ指圧師	人
看護師	657人	16人	665.6人	臨床工学技士	12人	医療社会事業従事者	12人
准看護師	5人	1人	5.8人	栄養士	人	その他の技術員	9人
歯科衛生士	1人	人	1.0人	歯科技工士	人	事務職員	78人
管理栄養士	7人	人	7.0人	診療放射線技師	38人	その他の職員	56人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
 歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	627.8人	3.7人	631.5人
1日当たり平均外来患者数	1,559.5人	30.7人	1,590.2人
1日当たり平均調剤数	901.2剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	166人	・膿疱性乾癬	7人
・多発性硬化症	66人	・広範脊柱管狭窄症	1人
・重症筋無力症	127人	・原発性胆汁性肝硬変	144人
・全身性エリテマトーデス	415人	・重症急性膵炎	23人
・スモン	1人	・特発性大腿骨頭壊死症	7人
・再生不良性貧血	100人	・混合性結合組織病	75人
・サルコイドーシス	194人	・原発性免疫不全症候群	4人
・筋萎縮性側索硬化症	27人	・特発性間質性肺炎	78人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	235人	・網膜色素変性症	32人
・特発性血小板減少性紫斑病	175人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	12人	・肺動脈性肺高血圧症	6人
・潰瘍性大腸炎	194人	・神経線維腫症	34人
・大動脈炎症候群	42人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・ビュルガー病	7人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	5人
・天疱瘡	61人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	0人
・脊髄小脳変性症	45人	・ライソゾーム病	0人
・クローン病	61人	・副腎白質ジストロフィー	2人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	21人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	26人
・悪性関節リウマチ	25人	・脊髄性筋萎縮症	0人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	261人	・球脊髄性筋萎縮症	0人
・アミロイドーシス	50人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	13人
・後縦靭帯骨化症	20人	・肥大型心筋症	81人
・ハンチントン病	3人	・拘束型心筋症	1人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	11人	・ミトコンドリア病	0人
・ウェゲナー肉芽腫症	8人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	3人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	30人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	11人	・黄色靭帯骨化症	93人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	12人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	351人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・超音波骨折治療法(四肢骨折のうち、開放骨折及び粉碎骨折)	・
・画像等手術支援加算(実物大臓器立体モデルによるもの)	・
・悪性腫瘍組織検査(抗悪性腫瘍剤感受性検査HDRA法又はCD-DST法)	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	月4~5回程度実施
部 検 の 状 況	部検症例数 61 例 61/328 部検率 18.6%

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
抗老化蛋白SMP30を用いた心不全の新規治療戦略	竹石恭知	循環器・血液内科学講座	1,820千円	補委 日本学術振興会 科学研究費
酸化LDLによる血管内皮機能不全の分子機構解明に関する研究	杉本浩一	循環器・血液内科学講座	1,560千円	補委 文部科学省 科学研究費
慢性心不全における睡眠時無呼吸症候群に対する順応性自動制御換気療法の効果の検討	義久精臣	循環器・血液内科学講座	2,730千円	補委 文部科学省 科学研究費
心不全における致死性心室性不整脈に対する新規治療戦略; diacylglycerol kinase ε による canonical transient receptor potential channel (TRPC)の制御	竹石恭知	循環器・血液内科学講座	2,000千円	補委 福田記念医療技術 振興財団
特発性心筋症に関する調査研究	竹石恭知	循環器・血液内科学講座	300千円	補委 厚生労働省難治性 疾患克服研究事業
心アミロイドーシスに対する新治療戦略; ICD併用自己末梢血幹細胞移植の試み	小川一英	循環器・血液内科学講座	500千円	補委 公立大学法人福島県立医 科大学 平成21年度研究 支援事業 育成研究
低分子G蛋白/Aktを介する血管内皮機能不全の治療法確立の基礎的・臨床的研究	大河原浩	循環器・血液内科学講座	500千円	補委 公立大学法人福島県立医 科大学 平成21年度研究 支援事業 育成研究
心腎関連の増悪に対する機序の解明と低濃度一酸化炭素を用いた治療法の開発	小林 淳	循環器・血液内科学講座	500千円	補委 公立大学法人福島県立医 科大学 平成21年度研究 支援事業 育成研究
古典的および骨髄不全型PNHにおける免疫学的特性とPNHクローン特性の検討	七島晶子	循環器・血液内科学講座	500千円	補委 公立大学法人福島県立医 科大学 平成21年度研究 支援事業 育成研究
RAGE (receptor for advanced glycation end products) をターゲットとした冠動脈疾患治療戦略の試み	上北洋徳	循環器・血液内科学講座	300千円	補委 公立大学法人福島県立医 科大学 平成21年度研究 支援事業 奨励研究
正常心および病的心での代謝性冠血流調節機構の解明	金城貴士	循環器・血液内科学講座	300千円	補委 公立大学法人福島県立医 科大学 平成21年度研究 支援事業 奨励研究
トロンビン受容体PAR1およびPAR2とMT1-MMPとの分子関連に関する研究	安藤勝也	循環器・血液内科学講座	300千円	補委 公立大学法人福島県立医 科大学 平成21年度研究 支援事業 奨励研究
心不全患者における心臓リハビリテーションによる酸化ストレス抑制効果の検討	佐藤崇匡	循環器・血液内科学講座	300千円	補委 公立大学法人福島県立医 科大学 平成21年度研究 支援事業 奨励研究
加齢による代謝性冠血流調節の破綻機序の解明	待井宏文	循環器・血液内科学講座	300千円	補委 公立大学法人福島県立医 科大学 平成21年度研究 支援事業 奨励研究
難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究	大平弘正	消化器・リウマチ膠原病内科学講座	500千円	補委 厚生労働省科学 研究費
肝炎・肝硬変に対する抗ウイルス剤以外の治療法に関する研究	大平弘正	消化器・リウマチ膠原病内科学講座	800千円	補委 厚生労働省科学 研究費
難治性の膵疾患に関する調査研究	入澤篤志	消化器・リウマチ膠原病内科学講座	630千円	補委 厚生労働省科学 研究費
プロテオミクスを用いた自己免疫性肝炎における自己抗体の網羅解析	大平弘正	消化器・リウマチ膠原病内科学講座	2,600千円	補委 文部科学省科学 研究費基盤研究(C)
膵癌予防としての慢性膵炎早期診断法の確立-マイクロバブル造影超音波内視鏡検査-	入澤篤志	消化器・リウマチ膠原病内科学講座	1,430千円	補委 文部科学省科学 研究費基盤研究(C)
Toll-like receptorを介したサイトメガロウイルス感染による炎症性腸疾患増悪機序の解明	片倉響子	消化器・リウマチ膠原病内科学講座	1,690千円	補委 文部科学省科学 研究費若手研究(B)
非アルコール性脂肪肝炎(NASH)病態における性ホルモンの影響の解析	高橋敦史	消化器・リウマチ膠原病内科学講座	1,040千円	補委 文部科学省科学 研究費若手研究(B)
膵臓癌抗原Mesothelinの新規CTLエピートープの同定と膵臓癌免疫治療への応用	横川順子	消化器・リウマチ膠原病内科学講座	400千円	補委 浜名湖シンポジウ 研究助成
悪性胆管狭窄に対する経乳頭的意図的迷入ステント留置法-Plastic tube stent(PS)とMetallic stent(MS)を用いた前向き無作為比較試験-	池田恒彦	消化器・リウマチ膠原病内科学講座	500千円	補委 (財)内視鏡医学研究財 団研究助成(B)
核酸を認識するToll-like receptorを介した制御性T細胞の分化誘導と炎症性腸疾患治療への応用	鈴木良磨	消化器・リウマチ膠原病内科学講座	300千円	補委 公立大学法人福島県立医 科大学プロジェクト研究 奨励研究

今後の特定健康診査・保健指導における慢性腎臓病(CKD)の位置付けに関する検討	渡辺 毅	腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科学講座	2,670万円	補委	厚生労働省
医療連携モデルを基盤とした総合した総合診療系医と領域別専門医制度の検討	渡辺 毅	腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科学講座	1,150万円	補委	厚生労働省
進行性腎障害に関する調査研究	渡辺 毅	腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科学講座	160万円	補委	厚生労働省
2型糖尿病患者を対象とした血管合併症抑制のための強化療法と従来治療とランダム化比較試験	渡辺 毅	腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科学講座	128万円	補委	厚生労働省
糖尿病性腎症の病態解明と新規治療法確立のための評価法の開発	佐藤博亮	腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科学講座	80万円	補委	厚生労働省
カリウム過剰摂取によるインスリン抵抗性改善作用とその作用機序の解明についての研究	佐藤博亮	腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科学講座	130万円	補委	財団法人ノト・サ(انس)研究財団
アルドステロン症の心血管合併症と内臓脂肪	緑川早苗	腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科学講座	100万円	補委	山口内分泌疾患研究振興協会
反復磁気刺激によるパーキンソン病治療の確立	宇川義一	神経内科	10,400万円	補委	厚生労働省
ジストニアの治療法の確立・治療指針策定のための調査研究	宇川義一	神経内科	100万円	補委	厚生労働省
脳脊髄液減少症の診断・治療の確立に関する研究	宇川義一	神経内科	100万円	補委	厚生労働省
難治性神経因性疼痛に対する大脳一次運動野刺激の多施設共同研究:継続的反复の経頭蓋磁気刺激による効果判定とメカニズム解析	宇川義一	神経内科	100万円	補委	厚生労働省
スモンに関する調査研究	杉浦嘉泰	神経内科	60万円	補委	厚生労働省
若年発症 I 型糖尿病に対する再生膵島移植-ティッシュエンジニアリングの利用	山下方俊	臓器再生外科学講座	1,000千円	補委	日本学術振興会科学研究費
膵癌の治療抵抗性に関する樹状細胞を中心とした細胞性免疫学的検討	見城 明	臓器再生外科学講座	1,000千円	補委	日本学術振興会科学研究費
BRMによる樹状細胞の機能修飾を用いた癌治療の試み	星野実加	臓器再生外科学講座	900千円	補委	文部科学省科学研究費
アカデミアのTR拠点が生み出す膵島移植確立のための戦略的アプローチ ②新規免疫抑制療法を併用する臨床膵島移植の開発	後藤満一	臓器再生外科学講座	8,921,685円	補委	文部科学省橋渡し研究支援推進プログラム
消化器がん外科診療の質を評価する指標の開発とがん医療の均てん化の推進	後藤満一	臓器再生外科学講座	16,600千円	補委	厚生労働省科学研究費
探索医療の成果としての膵島移植医療の確立	後藤満一	臓器再生外科学講座	9,200千円	補委	厚生労働省科学研究費
生体肝移植における抗CD25モノクローナル抗体による免疫抑制の試み	斎藤拓朗	臓器再生外科学講座	2,000千円 (20~21 2か年)	補委	福島県立医科大学 研究支援事業(難病等研究)
若年者 I 型糖尿病に対する膵島移植-細胞シートの臨床応用に向けて	伊勢一哉	臓器再生外科学講座	1,000千円	補委	福島県立医科大学 研究支援事業(発展研究)
ポストゲノム時代における良性脳腫瘍のエピジェネティクス・バイオマーカーの開発	齋藤 清	脳神経外科	910千円	補委	日本学術振興会科学研究費
神経皮膚症候群に関する調査研究	齋藤 清	脳神経外科	1,100千円	補委	厚生労働省科学研究費
腰痛の診断、治療に関する研究「腰部脊柱管狭窄症の診断・治療法の開発」	紺野慎一	整形外科	1,300,000	補委	厚生労働省科学研究費
腰痛の診断、治療法に関する研究:痛み・しびれの可視化技術の確立並びにMRIを用いた脊髄投射路及び末梢神経イメージング法の確立	紺野慎一	整形外科	3,000,000	補委	厚生労働省科学研究費
流入型神経端側縫合による筋肉の脱神経性萎縮防止法の研究	上田和毅	形成外科	700千円	補委	日本学術振興会科学研究費

インフルエンザ脳症の組織培養モデルを用いた薬剤による病態の増悪及び改善の検討	細矢光亮	小児科	1,500千円	補委	日本学術振興会 科学研究費
腎糸球体の再生過程における糸球体内皮細胞の役割と再生促進因子の解明	川崎幸彦	小児科	1,000千円	補委	日本学術振興会 科学研究費
マウスモデルを用いた臨床分離株解析によるRSV病原性発現の新たな機序の解明	橋本浩一	小児科	2,303千円	補委	日本学術振興会 科学研究費
急性脳炎・脳症の病態解明及びそれに基づく治療法・予防方法の確立に関する研究	細矢光亮	小児科	1,000千円	補委	日本学術振興会 科学研究費
プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究	細矢光亮	小児科	4,500千円	補委	厚生労働省 科学研究費
未熟児網膜症の新規手術法開発後の治療プロトコルの標準化	飯田知弘	眼科	1,500,000	補委	厚生科研(分担)
視細胞外節障害時の視細胞応答機構の解明	石龍鉄樹	眼科	1,700,000	補委	文科基盤(C)
弱視症例の網膜断層像形態と微小視野および多局所網膜電図による局所機能の比較研究	森 隆史	眼科	800,000	補委	文科若手(B)
同一の細胞外基質を標的とする遺伝性・自己免疫性疾患の病態解明と分子治療への応用	尾山 徳孝	皮膚科	1,820,000	補委	科学研究費補助金 基盤研究(C)
閉塞が徐々に完成する新しいBPHモデルによる閉塞膀胱の病態とそのメカニズムの解明	山口 脩	泌尿器科・ 副腎内分泌外科	1,000千円	補委	日本学術振興会 科学研究費
気管軟骨組織再生へのiPS細胞の応用	大森孝一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,500千円	補委	日本学術振興会 科学研究費
サイトメガロウイルスによる聴覚障害メカニズムの解明	小川 洋	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,500千円	補委	日本学術振興会 科学研究費
遺伝学的手法を用いたセンチネルリンパ節転移の術中迅速診断法の開発	松塚 崇	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,400千円	補委	日本学術振興会 科学研究費
組織工学的手法を用いた新たな人工気管の開発と気管再生における上皮化機序の解明	多田靖宏	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,000千円	補委	日本学術振興会 科学研究費
気管領域におけるヒト組織の培養および再生に関する研究	横山秀二	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	800千円	補委	日本学術振興会 科学研究費
サイトメガロウイルス感染による聴覚障害における聴覚・言語発達に関する研究	松井隆道	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,400千円	補委	日本学術振興会 科学研究費
咽頭再生を目指したウサギ食道の再生-PGAシートによる組織工学-	三浦智広	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,900千円	補委	日本学術振興会 科学研究費
手術時における脂肪組織含有幹細胞群の回収方法と移植法の開発	鈴木輝久	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	2,000千円	補委	日本学術振興会 科学研究費
ティッシュエンジニアリングによる培養気管の開発に関する研究	野本幸男	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,040千円	補委	日本学術振興会 科学研究費
自家軟骨細胞を用いた気管再生技術の開発	野本美香	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,020千円	補委	日本学術振興会 科学研究費
iPS細胞を用いた喉頭及び気管軟骨の分化誘導に関する研究	今泉光雅	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,040千円	補委	日本学術振興会 科学研究費
iPS細胞を用いた喉頭の軟骨再生技術に関する研究	野本幸男	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	2,000千円	補委	科学技術振興機構 ST地域イノベーション 創出総合支援事業: シーズ発掘試験 A
統合失調症における感覚記憶内の時間軸異常に関する研究	矢部博興	神経精神医学講座	1,200,000	補委	日本学術振興会 科学研究費 基盤B
光トグラフィーを用いた空間恐怖を伴うパニック障害患者の前頭葉機能の評価	境 洋二郎	神経精神医学講座	500,000	補委	福島県立医科大学 研究支援事業育成 プログラム
光トグラフィー・データにもとづく精神疾患診療支援システムの実用化、および反復磁気刺激の作用機序に関する研究	丹羽真一	神経精神医学講座	850,000	補委	福島県立医科大学 受託研究
術後せん妄の神経化学的研究	村川雅洋	麻酔・疼痛緩和科	1,430千円	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
非脱分極性筋弛緩薬の細胞取り込み機構に関する研究	高橋晋一郎	麻酔・疼痛緩和科	1,560千円	補委	文部科学省 科学研究費補助金
高サイトカイン血症における意識障害のメカニズムと麻酔作用への影響	林 志保	集中治療部	1,560千円	補委	文部科学省 科学研究費補助金

院内血液製剤の適正な製造体 順守規準に関する研究	大戸 斉	輸血・移植免疫部 (輸血移植免疫学講	600千円	(補 委	厚生労働省科学研
院内・転倒転落を引き起こす要因の 解明:転倒・転落危険評価チャート作 成と医療情報システムへの導入に向 けて	橋本重厚	医療安全管理部 衛生学予防医学講座	140万円	(補 委	福島県立医科大学 プロジェクト研究
褐色細胞腫の実態調査と診療指 針の作成	橋本重厚	医療安全管理部	10万円	(補 委	厚生労働省科学研 究費
				補 委	
				補 委	
				補 委	
				補 委	
				補 委	
				補 委	
				補 委	
				補 委	

計80

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Frontiers in Bioscience 14, 2553-2558, 2009	Role of Toll-like receptor mediated signaling pathway in ischemic heart	竹石恭知	循環器・血液内科学講座
Coronary Artery Disease 20 (6), 400-408, 2009	Novel pathway of endothelin-1 and reactive oxygen species in coronary vasospasm with endothelial	斎藤修一	循環器・血液内科学講座
Journal of Atherosclerosis and Thrombosis 16 (6), 846-856, 2009	RhoA and Rac1 changes in the atherosclerotic lesions of WHHLMI rabbits	大河原浩	循環器・血液内科学講座
Fukushima Journal of Medical Science 55 (2), 39-51, 2009	Bilirubin and its oxidative metabolite biopyrrins in patients with acute myocardial infarction	國井浩行	循環器・血液内科学講座
Cardiovascular Research 84 (1), 127-136, 2009	LOX-1-MT1-MMP axis is crucial for RhoA and Rac1 activation induced by oxidized low-density lipoprotein in endothelial cells	杉本浩一	循環器・血液内科学講座
Journal of Medical Ultrasonics 36 (3), 119-127, 2009	Participation of mast cells in angiogenesis in the border zone of myocardial infarction in rats	八巻尚洋	循環器・血液内科学講座
Journal of Cellular Physiology 220 (3), 706-715, 2009	Role of LOX-1 in monocyte adhesion-triggered redox, Akt/eNOS and Ca ²⁺ signaling pathways in endothelial cells	坂本信雄	循環器・血液内科学講座
International Heart Journal 50 (5), 627-641, 2009	Influences of autonomic nervous system on atrial arrhythmogenic substrates and the incidence of atrial fibrillation in diabetic heart	大竹秀樹	循環器・血液内科学講座
American Journal of Physiology (Heart and Circulatory Physiology) 296 (1), H226-H232, 2009	Regulation of coronary vascular tone via redox modulation in the α 1-adrenergic-angiotensin-endothelin axis the myocardium	山口 修	循環器・血液内科学講座
心臓 41 (7), 776-782, 2009	悪性症候群を契機に発症したカテコラミン心筋症の1例	坂本信雄	循環器・血液内科学講座
福島県医師会報 71 (4), 264-270, 2009	救急要請から病院到着までの“Chain of Survival=救命の連鎖”が奏功し、さらに病院到着後の集中治療により救命し得た急性冠症候群の一例	坂本信雄	循環器・血液内科学講座
心臓 41 (4), 422-429, 2009	心原性脾塞栓症による脾破裂を合併した感染性心内膜炎の1例	義久精臣	循環器・血液内科学講座
心臓 41 (3), 347-351, 2009	チェーンストーク呼吸を合併した拡張相肥大型心筋症に対しadaptive servo ventilationが奏功した1例	義久精臣	循環器・血液内科学講座
J Gastroenterol Hepatol	Overlap of primary biliary cirrhosis and autoimmune hepatitis : Characteristics, therapy, and long term outcomes.	横川順子	消化器・リウマチ膠原病内科学講座
Dig Endosc	Early diagnosis of small pancreatic cancer : role of endoscopic ultrasonography.	入澤篤志	消化器・リウマチ膠原病内科学講座
Dig Endosc	Interventional endoscopic ultrasonography : applications for cancer related treatment.	入澤篤志	消化器・リウマチ膠原病内科学講座
J Hepatobiliary Pancreat Surg	Pancreatobiliary drainage using the EUS-FNA technique : EUS-BD and EUS-PD.	入澤篤志	消化器・リウマチ膠原病内科学講座
Dig Endosc	Analysis of prognostic factors in patients with gastric varices after endoscopic treatment.	若槻 尊	消化器・リウマチ膠原病内科学講座
J Gastroenterol	Endoscopic Ultrasound-guided fine-needle aspiration of solid pancreatic masses with rapid on-site cytological evaluation by endosonographers without attendance of cytopathologists.	引地拓人	消化器・リウマチ膠原病内科学講座
腎と透析vol.66	メタボリックシンドロームを伴う高血圧の治療	渡辺 毅	腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科学
腎と透析vol.67増刊-CKDのすべて	世界のCKDの実態	渡辺 毅	腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科学講座
日本腎臓学会雑誌	特集:腎臓学この1年の進歩 臨床腎臓病学 この1年:CKD、さらにAKI	渡辺 毅	腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科学講座
Cefiro	特集 腎疾患-最近の進展-慢性腎臓病の予防治療	渡辺 毅	腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科学
治療	昨日の常識は今日の非常識。昨日の常識:慢性腎臓病対策は、末期腎不全(透析導入)の回避が目的、今日の常識:慢性腎臓病(CKD)対策は、心血管イベント予防も目的	旭 浩一	腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科学講座
日本医事新報	健診で発見されず薬剤で腎機能が増悪した高齢者のCKD	林 義満	腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科学講座
内科	高K血症・低K血症	根本文彦	腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科学講座

Brain stimulation	Consensus: New methodologies for brain stimulation.	宇川義一	神経内科
Neurosci Letts	Effects of high-frequency, low-intensity, biphasic conditioning trains of TMS pulses on the human motor cortex.	宇川義一	神経内科
Clin Neurol Neurosurg	Motor cortical epilepsy partialis continua in a patient with a localized sensory cortical lesion.	宇川義一	神経内科
J Neurol Sci	High-frequency rTMS over the supplementary motor area improves bradykinesia in Parkinson's disease: sub-analysis of double-blind sham controlled study.	宇川義一	神経内科
J Physiol	Primary motor cortical metaplasticity induced by priming over the supplementary motor area.	宇川義一	神経内科
Brain stimulation	Supramaximal responses can be elicited in hand muscles by magnetic stimulation of the cervical roots.	宇川義一	神経内科
J Neurol Sci.	Prominent cauda equina involvement in patients with chronic inflammatory demyelinating polyradiculoneuropathy.	宇川義一	神経内科
Mov Disord	Postural tremor in X-linked spinal and bulbar muscular atrophy.	宇川義一	神経内科
Neurology	Effects of STN stimulation on the initiation and inhibition of saccade in Parkinson's disease.	宇川義一	神経内科
Clin Neurophysiol	Safety, ethical considerations, and application guidelines for the use of transcranial magnetic stimulation in clinical practice and research.	宇川義一	神経内科
Mov Disord	Cerebellar dysfunction in progressive supranuclear palsy: a transcranial magnetic stimulation study.	宇川義一	神経内科
重篤副作用疾患別対応マニュアル	末梢神経障害	宇川義一	神経内科
重篤副作用疾患別対応マニュアル	痙攣・てんかん	宇川義一	神経内科
重篤副作用疾患別対応マニュアル	ギランバレー症候群	宇川義一	神経内科
パーキンソン病の診療 Q&A 110	パーキンソン病でもいろいろなジストニア姿勢やジストニア運動がみられる事があると聞きます。具体的にどのようなジストニアで、どのような状況になるのでしょうか？	宇川義一	神経内科
Annual review 神経	反復経頭蓋磁気刺激法によるヒト大脳皮質可塑性	宇川義一	神経内科
Annual review 神経	イオンチャンネル異常によるてんかんー最近のトピックス	宇川義一	神経内科
Gastric Cancer . 12(1):43-51,2009.	Expression of tight-junction-associated proteins in human gastric cancer: downregulation of claudin-4 correlates with tumor aggressiveness and survival.	Ohtani S	臓器再生外科学講座
Biomaterials. 30:5943-5949,2009.	Bioengineering of functional sheet of islet cells for the treatment of diabetes mellitus.	Shimizu H	臓器再生外科学講座
J Med Microbiol. 58(8):1037-44,2009.	An improved rapid quantitative detection and identification method for a wide range of fungi.	Soeta N	臓器再生外科学講座
Neurosurg Review 32:425-433, 2009	Factors predicting growth of vestibular schwannoma in neurofibromatosis type 2	伊藤英治	脳神経外科
Fukushima J Med Sci 55:7-22, 2009	Separate demonstration of arterial- and venous-phase by 3D-CT angiography for brain tumors using 64-multidetector row CT: 3D-CT arteriography and 3D-CT venography	粕谷泰道	脳神経外科
Surg Neurol 72:395-400, 2009	Evoked potentials elicited on the cerebellar cortex by electrical stimulation of the rat spinocerebellar tract	佐久間潤	脳神経外科
J Neurosurg 112:273-284, 2010	Intraoperative monitoring of visual evoked potential: introduction of a clinically useful method	佐々木達也	脳神経外科
Acta Neurochir 152:57-67, 2010	Long-term control of clival chordoma with initial aggressive surgical resection and gamma knife radiosurgery for recurrence	伊藤英治	脳神経外科
脳神経外科 37:429-440, 2009	術中MRIを用いた頭蓋底手術	渡邊 督	脳神経外科
Monthly Book Orthopaedics 22(5)6-11, 2009.5.15	特集 すぐに役立つ日常整形外科診療に対する私の工夫 I.脊椎 腰痛の診断・治療	紺野慎一	整形外科
Monthly Book Orthopaedics 22(5)17-22, 2009.5.15	特集 すぐに役立つ日常整形外科診療に対する私の工夫 I.脊椎 腰椎疾患に対するブロック療法の実際	矢吹省司	整形外科
総合リハビリテーション 37(6)別冊 509-515,	特集 高齢者の脊椎・脊髄疾患 腰部脊柱管狭窄症	紺野慎一	整形外科

脊椎脊髄ジャーナル 22(7)835-839, 2009.7.25	特集 Failed back surgeryの原因と再手術手技 腰部脊柱管狭窄の再手術の原因とrevision手技	二階堂琢也	整形外科
ペインクリニック 30(7)別 印947-953, 2009.7	非特異的慢性腰痛治療	紺野慎一	整形外科
臨床整形外科44(9):875, 2009.9.25	視座 慢性腰痛とドーパミンシステム	紺野慎一	整形外科
Adtella Square5(5):5-7 2009.10.1	腰痛症に対する治療の現状と今後の展望	紺野慎一	整形外科
SPINE 34:pp2431-2436, 2009.11.22	Augmented Cerebral Activation by Lumbar Mechanical Stimulus in Chronic Low Back Pain Patients	Y.Kobayashi	整形外科
ペインクリニック 30(10):S591- S600,2009.10	神経障害性疼痛の基礎と臨床ⅡⅧ.脊椎手術後疼痛症候群 1)Failed back surgery syndromeの病態とエビドラスコピの可能性	大谷晃司	整形外科
日本腰痛学会雑誌15(1) 別印32-38,2009.10	腰部脊柱管狭窄の診断サポートツール	紺野慎一	整形外科
マルホ整形外科セミナー 放送内容集第197集:4- 5,2009	腰部脊柱管狭窄の最近の知見	紺野慎一	整形外科
臨床整形外科44(9):911- 917,2009.9.25	論述 運動器に関する疫学調査-南会津スタディ第4報 腰部脊柱管狭窄と腰痛関連QOLとの関係(縦断研究)	大谷晃司	整形外科
J Plast Reconstr Aesthet Surg 63(5):e481- 483,2010.	How to create a natural nasolabial fold during muscle transplantation for the treatment of facial paralysis	上田和毅	形成外科
Clin. Dev. Immunol.	A new approach in the treatment of renal disease	川崎 幸彦	小児科
J. Med. Virol.	Serum KL-6 levels as a biomarker of lung injury in respiratory syncytial virus bronchiolitis	川崎 幸彦	小児科
Tohoku J. Exp. Med.	Tonsillectomy with methylprednisolone pulse therapy as rescue treatment for steroid-resistant IgA nephropathy in children	川崎 幸彦	小児科
Tohoku J. Exp. Med.	Accumulation of macrophages expressing myeloid-related protein 8 associated with the progression of sclerotic changes in children with IgA nephropathy	川崎 幸彦	小児科
J. Med. Virol.	DSCG reduces RSV-induced illness in RSV-infected mice	橋本 浩一	小児科
Virology	RSV replication is attenuated by counteracting expression of the suppressor of cytokine signaling(SOCS) molecules	橋本 浩一	小児科
Cytokine	Differences in serum cytokine levels between influenza virus A and B infections in children	佐藤 晶論	小児科
J. Clin. Microbiol.	Detection of viruses in human adenoid tissues by use of multiplex PCR	佐藤 晶論	小児科
Pediatr. Transplant.	Successful unrelated cord blood transplantation for chronic granulomatous disease: a case report and review of the	望月 一弘	小児科
Pediatr. Int.	Second Japanese case of neonatal alloimmune thrombocytopenia due to anti-human platelet antigen-5a	今村 孝	小児科
Invest Ophthalmol Vis Sci 50:2994-3002, 2009.	Horiguchi M. Clinical application of autofluorescence densitometry with a scanning laser ophthalmoscope.	Sekiryu T, et al.	眼科
J Gen Virol 90: 1471- 1476, 2009.	Analysis of the complete genome sequence of epidemic keratoconjunctivitis-related human adenovirus type 8, 19, 37 and a novel serotype.	Kaneko H, et al.	眼科
Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol 248, 261- 368. 2010.	Combined cases of polypoidal choroidal vasculopathy and typical age-related macular degeneration.	Maruko I, et al.	眼科
Am J Ophthalmol. 148:472-481,2010.	Comparison of intravitreal triamcinolone acetate with photodynamic therapy and intravitreal bevacizumab with photodynamic therapy for retinal angiomatous proliferation.	Saito M, et al.	眼科
J Am Acad Dermatol 60:168-9, 2009	Solitary fixed drug eruption caused by finasteride	Oyama N et al.	皮膚科
Matrix Biol 28: 160-9, 2009	ECM1 interacts with fibuline-3 and the beta 3 chain of laminin 332 through its serum albumin subdomain-like 2 domain	Sercu S et al.	皮膚科

The Open Dermatol J 3:44-51, 2009	Importance of extracellular matrix protein 1 (ECM1) in maintaining the functional integrity of the human skin	Sercu S et al.	皮膚科
Arch Dermatol 145:1458-60, 2009	A case of lichen sclerosus of the scalp associated with autoantibodies to extracellular matrix protein 1	Kawakami Y et al.	皮膚科
Dermatol Online J 16:15, 2010	Basal cell carcinoma on the toe	Suzuki Y et al.	皮膚科
Acta Derm Venereol 90:194-5, 2010	A case of sebaceous naevus of the leg with secondarily developed trichoblastoma	Kawakami Y et al.	皮膚科
J Eur Acad Dermatol Venereol 24:101-3, 2010	A case of pemphigus herpetiformis with absence of antibodies to desmogleins 1 and 3	Miura T et al.	皮膚科
World J Urology	Place of overactive bladder in male lower urinary tract symptoms	山口 脩	泌尿器科・ 副腎内分泌外科
Neurourol Urodyn	Antimuscarinics and overactive bladder: other mechanism of action.	山口 脩	泌尿器科・ 副腎内分泌外科
Microbiol Immunol	Association between antibody response against cytomegalovirus strain-specific glycoprotein H epitopes and HLA-DR.	石橋 啓	泌尿器科・ 副腎内分泌外科
Inflammation and Regeneration	Bio-engineered scaffold with fibroblasts for tracheal regeneration in a rabbit model.	Wataru Okano, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Annals of Otolaryngology, Rhinology & Laryngology	Bioengineered trachea with fibroblasts in a rabbit model.	Wataru Okano, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Fukushima Journal of Medical Science	Cochlear implantation in a case of bilateral sensorineural hearing loss due to mumps.	Yukie Suzuki, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
頭頸部癌	頭頸部悪性黒色腫に対する当科の治療成績	鈴木政博	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
耳鼻咽喉科免疫アレルギー	頭頸部領域の血管性浮腫	三浦智広	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
耳鼻と臨床	センチネルリンパ節生検と頸部郭清術.	松塚 崇, 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
耳鼻咽喉科臨床	原発巣発見に苦慮した子宮頸癌の頸部リンパ節転移例.	今泉光雅	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
喉頭	結紮糸が原因で気管内肉芽を生じた気管切開症例.	谷 亜希子	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
精神疾患とNIRS	統合失調症と気分障害のNIRS研究	矢部博興	神経精神医学講座
Journal of Anesthesia	Anesthetic management for ascending aorta replacement in a patient who refused autologous transfusion for religious reasons	Obara S	麻酔・疼痛緩和科
麻酔	加速度脈派モニタリングは麻酔導入による血圧低下の予測指標になりうる	小原伸樹	麻酔・疼痛緩和科
臨床麻酔	全身麻酔下にパルスオキシメータより得られたPerfusion Index と動脈圧波形解析より得られた循環指標の相関関係の検討	小原伸樹	麻酔・疼痛緩和科
Hospital Dentistry and Oral-Maxillofacial Surgery	Intra-arterial Chemotherapy for Oral Cancer Using Two Routes via The Superficial Temporal and Occipital Arteries: A Case Report	Hasegawa H	歯科口腔外科
British oral and maxillofacial surgery	Defect in the nasal septum and maxillopalatine bone with an oronasal fistula: traumatic stimulation caused by a peculiar habit?	Hasegawa H	歯科口腔外科
Am J Physiol - Renal Physiol, 2009;296, F1052-60.	Angiotensin II type 1 receptor blocker attenuates the activation of ERK and NADPH oxidase by mechanical strain in mesangial cells in the absence of angiotensin II.	橋本重厚	医療安全管理部
ホルモンと臨床 2009; 57, 585-591.	原発性アルドステロン症の確定診断では複数の内分泌負荷試験が必要である Pro	橋本重厚	医療安全管理部
血圧 2009;16, 929-933.	【原発性アルドステロン症 診断と治療のUp-to-Date】 原発性アルドステロン症の診断に必要な機能検査の選択	橋本重厚	医療安全管理部

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 村川 雅洋
管理担当者氏名	医療情報部部长 竹石 恭知 他

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		医療情報部等	患者ごと又は記録ごとに分類し、管理・保管している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	病院経営課	記録ごとに分類し、管理・保管している。
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	〃	
	高度の医療の研修の実績	〃	
	閲覧実績	病院経営課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医療連携相談室	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課	
第規一則号第一に掲げる十一の確項及び第九の二十三第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	記録ごとに分類し、管理・保管している。
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	〃	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	〃	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	〃	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	〃	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療連携相談室	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染制御部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	〃
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	〃
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	〃
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医薬品安全使用部会
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	〃
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	〃
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	〃
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	臨床工学センター
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	〃
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	〃		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	〃		

記録ごとに分類し、管理・保管している。

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 村川 雅洋
閲覧担当者氏名	病院経営課 五十嵐 宏治
閲覧の求めに応じる場所	病院棟 3階 病院経営課

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	60.5%	算定期間	平成21年4月1日～平成22年3月31日
算出根拠	A：紹介患者の数		9,485人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		7,194人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		1,411人
	D：初診の患者の数		22,695人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
・ 指針の主な内容： 1 安全管理に関する基本的考え方 2 医療事故防止対策委員会、その他の組織に関する基本的事項 3 医療に係る安全管理のための従業者に対する研修に関する基本方針 4 事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 5 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 6 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針 7 患者からの相談への対応に関する基本方針 8 その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 2 回
・ 活動の主な内容： 1 委員会の管理及び運営規定の策定・改正に関すること 2 重要な検討内容について、患者への対応状況を含め管理者へ報告する 3 重大な問題が発生した場合に、速やかに発生の原因を分析し、改善策の立案及び実施並びに従業者への周知を図る 4 委員会で立案された改善策の実施状況を必要に応じて調査し、見直しを行う	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 5 回
・ 研修の主な内容： 医療に係る安全管理のための基本的考え方及び具体的方策について、従業者へ周知徹底を行うことで、個々の従業者の安全に対する意識、安全に業務を遂行するための技能やチームの一員としての意識の向上等を図るもの。	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 1 当院で発生した事故を委員会への報告する 2 あらかじめ定められた手順、事故収集の範囲等に関する規定に従い事例を収集、分析する。これにより当院における問題点を把握して、当院の組織としての改善策の企画立案及びその実施状況を評価し、当院においてこれらの情報を共有する 3 重大な事故の発生時には、速やかに管理者へ報告する	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (3 名) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (2 名) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
・ 所属職員： 専任 (4) 名 兼任 (4) 名 ・ 活動の主な内容： 1 委員会で用いられる資料及び議事録の作成及び保存、その他委員会の庶務に関すること 2 事故等にかんする診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認を行うとともに、必要な指導を行う 3 患者や家族への説明など事故発生時の対応状況について確認を行うとともに、必要な指導を行う 4 事故等の原因究明が適切に実施されて居ることを確認するとともに、必要な指導を行う	

5 医療安全に係る連絡調整に関すること 6 その他医療安全対策の推進に関すること	⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	○・無
---	--------------------------------------	-----

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	(有)・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1 院内感染対策に関する基本的な考え方 2 院内感染対策のための委員会、その他の組織に関する基本的事項 3 院内感染対策のための従業者に対する研修に関する基本方針 4 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 5 院内感染発生時の対応に関する基本方針 6 患者等に対する指針の閲覧に関する基本方針 7 その他の院内感染対策の推進のために必要な基本方針 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1 委員会の管理及び運営規定の策定・改正に関すること 2 重要な検討内容について、院内感染発生時及び発生が疑われる際の患者への対応状況を含め、管理者へ報告する 3 院内感染が発生した場合は、速やかに発生原因を分析し、改善策の立案及び実施並びに従業者への周知を図る 4 委員会で立案された改善策の実施状況を必要に応じて調査し、見直しを行うこと 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2 6 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <p>院内感染対策のための基本的考え方及び具体的方策について、従業者へ周知徹底を行うことで、個々の従業者の院内感染に対する意識を高め、業務を遂行する上での技能やチームの一員としての意識の向上等を図るもの。</p> 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 ((有)・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1 院内のみでは対応が困難な事態が発生した場合、又は発生したことが疑われる場合に、地域の専門家等に相談が行われる体制の確保 2 院内感染対策マニュアルの定期的な見直し 	

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	☑・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 3 回
・ 研修の主な内容： 1 医薬品の有効性・安全性に関する情報、使用方法に関する事項 2 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書に関する事項 3 医薬品による副作用等が発生した場合の対応に関する事項	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 (☑・無) ・ 業務の主な内容： 1 医薬品の採用・購入に関する事項 2 医薬品の管理に関する事項 3 患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関する事項 4 患者に対する与薬や服薬指導に関する事項 5 医薬品の安全使用に係る情報の取扱いに関する事項 6 他施設との連携に関する事項	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (☑・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 医薬品に係る情報のうち、必要なものは当該情報に係る医薬品を取り扱う従業者に迅速かつ確実に周知徹底を図る (ex. DI ニュース、医療安全ニュース、院内報)	

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 4 3 回
・ 研修の主な内容： 1 医療機器の有効性・安全性に関する事項 2 医療機器の使用方法に関する事項 3 医療機器の保守点検に関する事項 4 医療機器の不具合等発生した場合の対応に関する事項 5 医療機器の使用に関して特に法令上遵守すべき事項	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 計画の策定 (有・無) ・ 保守点検の主な内容： 毎日点検 1 患者使用後点検 1 回/年・業者による点検	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 1 添付文書等の管理 2 医療機器に係る安全性情報等を当該医療機器に携わる者に適切に提供する 3 病院管理者への報告	